

看護課より
お知らせ

クリスマスコンサート

南館4階病棟 看護主任 名畑 学

平成25年12月18日(水)西館大会議室にて、北海道大谷室蘭高等学校の吹奏楽部の皆様にお越しいただきクリスマスコンサートを開催しました。

入院患者様、約100名程の参加がありクリスマスソングをはじめテレビドラマ「あまちゃんのテーマソング」やアニメ「サザエさんのテーマソング」カーペンターズの曲など、たくさんの曲を披露していただきました。

参加された患者様は皆さん笑顔で一足早いクリスマスの雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。参加された患者様からは「良かったよ」「楽しかったよ」との声も聴かれ、今後も患者様の声に応え快適な入院生活が送れるように努めていきたいと思っております。



特定医療法人
社 団 千 寿 会 三 愛 病 院

〒059-0493
北海道登別市中登別町24番地12
TEL (0143) 83-1111
FAX (0143) 83-1361

<直通TEL>

歯科口腔外科 83-3991
医療福祉相談室 83-3207
地域生活支援室 83-3572
精神科デイケア 83-2520

<URL>

<http://www.sanai-hospital.or.jp>

<E-mail>

post@sanai-hospital.or.jp

<診療科目>

精神科・老年精神科・内科
老年内科・心療内科・消化器内科
皮膚科・リハビリテーション科
泌尿器科・眼科・漢方外来
歯科口腔外科・歯科



作成：三愛病院 広報委員会

特定医療法人社団千寿会 三愛病院 広報誌

2014年 2月

と お た る け あ



日本医療機能評価機構認定病院



平成26年1月29日 登別「鬼まつり」にて

新年を迎えて



三愛病院 医局
内科医 金上 宣夫

新しい年を迎え、昨年に続き厳しい寒さが続いております。皆様、如何お過ごしでしょうか。人は新年を迎えると必ず歳をとります。人は老人になるのです。正月明けの北海道新聞に限界集落のことが載っていました。限界集落とは過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者になって冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている集落を指すとのことですが、北海道は少子化社会を背景に高齢社会になり、都市でも生産年齢人口(働く若い人の数)が減少してきている現代です。東京以外の道府県の人口減少を背景に診療報酬制度や介護保険法をはじめとする保健医療福祉制度もめまぐるしく改正されています。施設から家庭へ、家族に見守られた家庭での老後へ。

長く入所・入院していると施設の診療報酬が下がるような制度で、締め付けてきます。しかし現実には違います。老老介護や成人した子供世代も、結婚しても経済的に共稼ぎで家庭で介護する人が居ないとかで難しいことです。それでも病人を抱えて生活することの家族の負担は計り知れない苦勞があります。当法人 千寿会は、三愛病院を中心に老健施設、高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、訪問看護、訪問介護、就労支援施設、障がい者グループホーム、と多岐にわたり患者様のケアに努めております。健康な家族が病人の介護に健康を壊す前に利用して頂きたいと思っております。そのためには、当法人の職員も、医療・介護の質の向上、スタッフの確保・教育に恒常的に関わって改善し、地域の皆様にとって安心してご利用いただける病院をめざしております。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

新規着任医師より、御挨拶

内科医師 齋藤 弘

去年1月1日から内科医として就任致しました。これ迄は、登別厚生年金病院にて循環器医として、丁度まる五年間勤務しておりましたので、その間、当院と仕事上お世話になることがありました。しかしこの度、図らずもご縁が出来、勤めさせて頂く事になりました。当初、建物が大きく複雑な為、迷子になったり、仕事の仕方に戸惑いを感じたりしながら苦勞致しましたが、同僚医師、スタッフの皆さんにお世話になりながら、最近暫く仕事に慣れる事が出来ました。我が国の現状を写しいずれの医療機関も高齢患者が多く、

当院に於いては医師の一員として、高齢患者さんの為に誠心誠意医療奉仕に努めるつもりです。私自身高齢ですが気力・体力を維持するため、院内エレベーターを使わず足早に歩いております。シーズンに入ると、好きなお酒を少し控え、ゴルフを楽しみ体力増強に努めたいと考えております。現在の医療はチーム医療であり、今後、スタッフの皆様との協力の下に頑張る積りですので、宜しくお願いします。



精神科医師 吉田 綾子

去年の10月下旬より精神科医師として勤務しております。

九州出身ですが、平成19年に精神科に転科する際に精神保健指定医取得のため、阪南病院をすすめられ、大阪に転居し住んでいました。その時に約2年間乗馬クラブに行き、休みの日には外乗旅行もしていました。その後は休みのときは他の勉強のため、乗馬クラブには足が遠のいていましたが、外乗は年に1、2回行っていました。今までの精神科勤務は阪南病院のみでスーパー救急と急性期病院しか経験していなかったため、一度スーパー救急のない病院で働いてみたかったこと、また、もっと馬に乗りたいたいの思いもあり、北海道に来ることを決め、この病院で働かせてもらうことになりました。よろしくお祈りいたします。ちなみに今年の目標はエンデュランス3級(できれば2級)を取得することです。



皆様のご支援の中で、様々な賞を受賞しました！

第2回 精神科医学会学術大会にて奨励賞を受賞致しました。

外来看護主任 津野 和枝

平成25年11月14日(木)、15日(金)、埼玉県さいたま市で2日間にわたって開かれた第2回日本精神科医学会学術大会へ発表に行きました。参加者は北は北海道・南は沖縄と全国から1,700名の参加がありました。

テーマ「精神科医療の新たな展開～専門分化と統合化～」と題して、講演、シンポジウム、スライド発表156演題があり、私は、「不眠で悩む患者様へのアプローチ～パンフレット作成を試みて～」を発表しました。このような舞台での発表で大変貴重な体験をさせて頂き、また奨励賞をいただいたのも、外来患者様のご協力もあり、理事長はじめ外来師長、スタッフに感謝しております。研究のきっかけとして、現代は様々な要因により、成人の4～5人に一人が睡眠に関する問題を抱えていると言われております。当病院の外来通院患者様も睡眠に関する悩みを抱えている人は多く、薬物療法だけでは「改善しない」と訴える患者様もいます。私たち外来看護師はその悩みが少しでも改善され、よりよい睡眠が得られる方法はないか、と検討し快眠パンフレットを作成し配布しました。今後も患者様の持つ悩みや必要とする情報を把握していくことで様々な種類の情報提供ができる手段を検討できれば良いと考えます。



千葉理事長が「北海道社会貢献賞」を受賞致しました。

介護老人保健施設グリーンコート三愛 事務長 永山 雅一

平成25年11月8日(金)ホテルさっぽろ芸文館に於いて、第21回北海道老人保健施設大会が開催され、その開会式の中で介護老人保健施設グリーンコート三愛の施設長でもある千葉泰二理事長が平成25年度北海道社会貢献賞(介護老人保健施設事業功労者)を受賞しました。

千葉理事長は平成6年に介護老人保健施設を開業以来、施設長として業務に従事するとともに、北海道老人保健施設協議会の理事として、道内の介護老人保健施設の質の向上に努めてきたことが認められ、この度の受賞となりました。施設長が北海道社会貢献賞を受賞されたことは、グリーンコート三愛にとって誇りと大きな励みとなりました。職員一同、施設長の受賞に恥じないよう質の向上に努めてまいります。



介護でお困りことはありませんか？

第5回 家族教室を開催致しました。

認知症疾患医療センター便り

平成25年12月18日(水)、『渡邊先生と、介護についてお話しませんか～家族が困る認知症状とその向き合い方、治療でできることとできないこと～』と題して当院精神科医師の渡邊先生が講師となり、家族教室を開催しました。認知症の治療方法やご家族・介護者の対処の方法・気持ちの面での向き合い方をグループで共有し、介護者の悩み、葛藤、困っていることなど、皆さんで話し合う機会となりました。

介護していると悩みを抱え込みやすく、孤立する傾向がありますが、人と話しをすることで心の負担が軽くなることもあります。介護者同士の横のつながりを作る機会になればと考えておりますので、今後も3か月に1度、次回は平成26年3月に開催する予定です。興味関心のある方はお気軽に下記連絡先迄お問い合わせください。



三愛病院 認知症疾患医療センター
TEL: 0143-83-3572 Fax: 0143-83-1361
MAIL: shien@sanai-hospital.or.jp



研修及び研究のご報告

第5回 院内研究発表研究会を開催致しました。

栄養課 栄養士 堀切 菜生

この度、平成25年9月20日(金)に開催された第5回院内研究会にて大規模停電を経験した際、非常時に安全な食事を提供することの重要性を強く感じ、現在の非常食内容を見直し、より充実したものにしていかなければと考え取り組んだ内容を、院内スタッフと情報の共有、問題点や今後の取り組みを伝えたいと思い臨みました。最優秀賞を頂き、協力指導頂きました皆さんに感謝の気持ちと同時に、私自身にとって業務の励みとなり、今後も様々な業務において問題意識を持って取り組んで参りたいと気を引き締める機会となりました。今後も患者様のためにスキル向上に努めてまいります。



第56回 日本病院・地域精神医学会総会の御報告

就労支援センターピアチェーレ 施設長 二瓶 公介

平成25年10月12日(土)、13日(日)に札幌市北海道立道民活動センター(かでの2.7)で行われた第56回日本病院・地域精神医学会総会に参加させて頂きました。大会長講演では北海道立精神保健福祉センターの田辺医師が「心の危機を支えたもと」と題して、精神科医師になった当初の苦悩や退院支援の取組みについて講演されました。その中で、対象者を生きる人として理解し、何を望んでいるか共有した上で治療や支援に取り組む必要があると話されていたことが印象に残りました。全体としてもPTSDの治療・回復についての講演や精神保健福祉法の改正についてのシンポジウムなどを聞くことが出来、精神科医療・福祉について広く学ぶ機会となりました。

平成25年度 リハビリテーション心理職研修会の御報告

心理療法室 心理療法士 川村 幸大

平成25年10月28・29・30日、埼玉県の国立障害者リハビリテーションセンター学院にて開催されました、リハビリテーション心理職研修会に参加致しました。主に、高次脳機能障害に関する知識、神経心理学検査の解釈法、およびリハビリテーションについて学んで参りました。心理職の研修としては滅多にない内容であった為、大変に有意義な機会を頂きました。今回の体験は、高次脳機能障害の方に対する業務のみならず、精神科疾患および認知症の方の機能理解にも大いに役立つ知識ばかりであった為、日々のあらゆる業務に活かしていきたいと考えております。